

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 平成 29 年 10 月 1 日

設置・運営主体	セントスタッフ株式会社		
設置主体	セントスタッフ株式会社		
経営主体	株式会社		
事業所名 (施設名)	志木駅前そらいろ保育園	種別	保育所
所在地	〒 352-0001 埼玉県新座市東北2丁目26番16号 サンヴィレッジ志木1階		
電 話	048-424-3969		
FAX	048-424-3969		
Email	st_shiki@home.misawa.co.jp		
URL	http://www.shiki-hoikuen.com/		
施設長氏名	高山 明美		
調査対応担当者	高山 明美	(所属、職名：園長)	
利用定員	19 名	開設年	平成 27 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>保育理念：出会いによる価値の創造 自分を大切にします 人を大切にします</p> <p>保育方針：1、家庭的な保育の中、一人ひとりの発達に見合った保育をしていきます。 2、よく食べ、よく遊び、よく眠る、明るく元気にのびのびとした子どもを育てます。 3、少人数の特色を活かし、きめ細やかな保育の中で異年齢の交流を通し、優しい心、思いやりのある心を育みます。</p>			
開所時間 (通所施設のみ)	7：30～18：30		

【利用者の状況に関する事項】

○成人施設の場合（老人福祉サービスを除く）

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	名	名	名	名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
名	名	名	名	名	名
					合 計
					名

○老人福祉サービスの場合

60歳未満	60～65歳未満	65～70歳未満	70～75歳未満	75～80歳未満	80～85歳未満
名	名	名	名	名	名
85～90歳未満	90～95歳未満	95歳以上	合 計		
名	名	名	名		

○保育所の場合（通常保育）

	定 員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数
0歳児	3	2	1	—	2
1歳児	8	8	1	—	2
2歳児	8	8	1	—	2
3歳児					
4歳児					
5歳児					
計	19	18	3	—	—

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

○障害等の状況（保育所を除く）

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	名	名	名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	名	名	名	名	名	名	名
合 計	名	名	名	名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
名	名	名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	名	名	名
そううつ病	名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	名	名
合 計	名	名	名

○要介護区分の状況（介護保険対象サービス事業所のみご記入ください。）

自立・要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
名	名	名	名	名	名

○サービス利用期間の状況（保育所を除く）

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
名	名	名	名	名	名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
名	名	名	名	名	名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
名	名	名	名	名	名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上		
名	名	名	名		

（平均利用期間： ）

【職員の状況に関する事項】

○成人施設の場合

	総数	施設長	事務員	主任指導員	指導員
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	主任介護職員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	名	名	名	名	名
非常勤	名	名	名	名	名

社会福祉士	名（ 名）
介護福祉士	名（ 名）
保育士	名（ 名）
	名（ 名）
	名（ 名）

（非常勤職員の有資格者数は（ ）に記入）

○保育所の場合

常勤職員数		7人	
うち	保育士	6人	保健師・看護師
	栄養士・調理員	1人	その他（ ）
非常勤職員数		3人	(常勤換算 人)
うち	保育士	2人	(常勤換算 1.2人)
	保健師・看護師	0人	(常勤換算 0人)
	栄養士・調理員	1人	(常勤換算 0.6人)
	その他（ ）	人	(常勤換算 人)
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>			
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤： 5人	非常勤： 4人
	退職	常勤： 2人	非常勤： 1人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		歳（ 37歳）	
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		年（ 1.4年）	
<p>(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。</p>			

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所を除く)

(例) 救護施設における通所事業（定員5名）	
・戸田さくらそう	グループホーム/小規模多機能ホーム
・成城さくらそう	グループホーム
・千歳台さくらそう	グループホーム
・福岡天神南さくらそう	グループホーム/小規模多機能ホーム
・仙台みなみさくらそう	グループホーム
・ミライエ戸田	放課後等デイサービス
・ミライエ日本橋	放課後等デイサービス

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	30分200円
休日保育	—	—
障害児保育	—	—
一時保育	○	60分500円/1日3,000円
地域子育て支援センター	—	—
乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)	—	—
アレルギー等対応給食	○	—
その他(事業名:)	—	—

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・平成 年度におけるボランティアの受け入れ数(延べ人数)

0人

・ボランティアの業務

--

【実習生の受け入れ】

・平成 年度における実習生の受け入れ数(実数)

社会福祉士 人





介護福祉士 人

その他 人





【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○成人施設の場合

(1) 建物面積	m ²			
	入所(通所)者1人あたり	m ² (延べ床面積÷定員)		
(2) 居室数 (入所施設の場合)	個室	室		
	2人部屋	室		
	3人部屋	室		
	4人部屋	室		
	5人以上の部屋	室		
(3) 耐火・耐震構造	耐火			2 - 〇
	耐震			2 - 〇
(4) 建築(含大改築)年	平成	年		
(5) 主な設備				

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	95.61 m ²			
	児童1人あたり	5 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)		
(2) 園庭面積	m ²			
	児童1人あたり	m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)		
(3) 耐火・耐震構造	耐火			2 - 〇
	耐震			2 - 〇
(4) 建築(含大改築)年	昭和	59年		

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設（事業所）において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・各行事ごとのアンケート調査により意見や要望を伺い、アンケートの結果についても公表して他の保護者の方の意見や要望なども明確に伝える。また、出された意見や要望などは、職員間で話し合いを進めて、着実な改善や保護者の目線に気付かされる事で、少しずつ出来ることを試みたり、反省点があれば振り返り、改善できるところはしていくようにする。要望などについては、次の行事から取り入れることが出来るよう皆で話し合いをしながら、保護者の気持ちに応えられるよう取り組んでいる。
- ・クレームや保護者からの意見などは、担当が登降園時に直接保護者の気持ちを聞ける時間である為、何かあれば直ぐに職員間の連携も出来ており、報告、連絡、相談を受けることが出来、保護者へも早急な対応が出来る。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ・一人ひとりが保護者の気持ちに寄り添えるよう家庭の延長線上を目指した保育を行っている。登園時は保護者の方の出勤もあり、バタバタであると思うので、主に降園時に園での様子や体調、気になることなどは保護者に伝えるようにして、積極的に保護者とのコミュニケーションが取れるように心掛けて接している。それにより保護者から出された思いや不安など耳を傾けて全職員が周知し認識して把握している。勤務する職員自身が預けたいと思える保育園を皆で作れるように、言葉掛けや細かな配慮など、まだまだ気付かないところや、気付いてないところがある中で、他の職員の姿勢や取り組みを見て自分自身に置き換えてみたりと職員一人ひとりが自然と成長し合っている。
- ・保護者と職員の信頼関係作りを密にしていくことで、安心して預けられる園へとなるよう、日々の積み重ねの成果を通し、より丁寧な保護者対応を徹底していけるよう心掛けている。

【第三者評価の受審状況】

- ・ 受審回数（前回の受審時期）

_____ 0 _____ 回 （平成 _____ 年度）